

Support



NO.3
令和8年9月2日
 編集・発行
 学校支援課 広報担当

<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>

令和8年度学校園教育推進サポート事業について

このサポート事業は、新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～の実現を目指し、市の学校園教育全体に価値のある先進的・創造的な教育活動の推進に向けた取組と各学校園の教育目標の実現や課題解決のための取組を予算的・人的に支援することで、学校運営の主体性や独自性を推進するとともに、マネジメント力の向上を図ることを目的にしています。また、その取組の成果や効果を市全体の教育施策として展開できることを目指しています。

◆今年度の各学校の実践テーマについて紹介します。

学校	実践テーマ
葛塚東小学校	子どもの学びをつなぐ葛塚東小学校区架け橋プログラム
桃山小学校	食育を通して地域を愛する子どもを育てる ～地域・関係機関と連携した店舗「桃山食のサテライト」の運営～
浜浦小学校	自ら問いをもち、探究する子どもの育成 ～学びを委ねる授業づくり～
新潟小学校	多様な個性や特性、困り感を有する児童が安心して学びに向かうための支援の工夫 ～教育的ニーズに応じた校内支援体制の充実と「個別最適な学び」の推進～
沼垂小学校	幼児児童理解を基盤とした架け橋期における学びの連続性の拡充 ～架け橋ミーティング・プレクラス制・ゆるやかな学級担任制の導入～
上所小学校	学びの基盤となる人間関係形成能力と情報活用能力の育成 ～全ての子どもが学ぶ楽しさを実感する授業を目指して～
有明台小学校	一人ひとりの学びにくさの解消を目指して
亀田小学校	学校の教育ビジョン具現に向けたカリキュラム・マネジメント ～新教科「夢中」の創設～
内野小学校	誰一人取り残さない多様性を包摂する学校・学級づくり ～通級指導教室を活用したインクルーシブ教育システムの構築～
大野小学校	情報活用能力・自己調整能力・言語能力を備えた自立した学習者の育成 ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実における発達段階に応じた教師の指導性～
黒埼南小学校	地域の特色を生かした探究的な学習とカリキュラム・マネジメントの推進 ～本物体験によるアントレプレナーシップ教育を基軸とした教育課程の自校化をとおして～
白新中学校	授業づくりに焦点をあてた教員の資質向上に向けた研修体制の確立
亀田西中学校	自ら課題を設定し、知識を活用して学びを自己調整する生徒の育成 ～評価の在り方と学習を支える ICT の活用を通して～
赤塚中学校	すべての生徒が3年間を楽しく過ごせる学校の創造 ～子どもたちに非認知能力を育む教職員の資質・能力の向上～
西川中学校	異学年・異年齢・異文化との交流による「自己肯定感」と将来への「志」の醸成 ～イェナプラン教育から学ぶ 自律と共生を大事にしながら～



◆昨年度（令和7年度）行った学校園教育推進サポート事業の実践を紹介します。

令和7年度の実践校の中で、2校の実践の概要を紹介します。令和7年度の各学校の実践の詳細については、【L-gate】→【教材・アプリ】→【e-Support】→【4これまでの取り組み】→【▶学校園教育推進サポート校の実践】でご覧いただけます。

1 有明台小学校の実践

- ① 実践のテーマ：スタートカリキュラムと個別最適な学びの連携
- ② 実践の概要：スタートカリキュラムの更なる見直しを行い、入学当初の安心感と学校生活への円滑な移行の実現を目指す。その基盤の上に学びにくさの個別の具体的な実態を把握し、解決のためのサポートを行い、児童が主体的に自分らしく学べるようにする。

【写真 講師の先生との演習の様子】



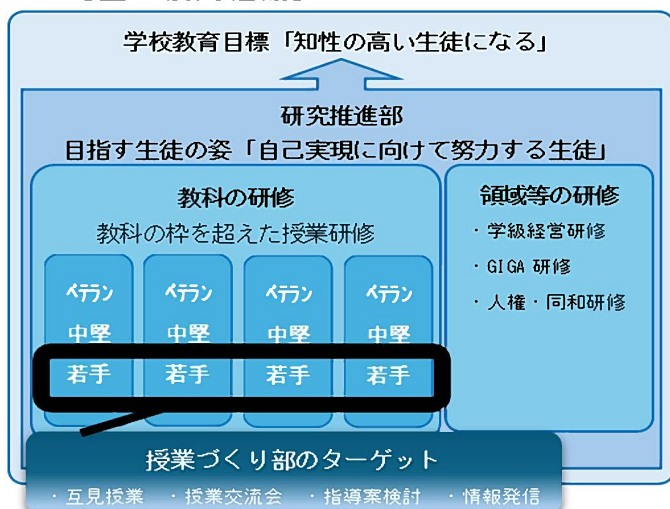
<学ぶべき点>

- ・ 定量的評価と定性的評価の両輪で状況を把握し、より正確で納得感のある分析や成果を把握し、支援に生かしている。
- ・ 実践内容をリーフレットにまとめたり、研修会で実践内容を発表したりして、市内の学校に実践の成果や課題を共有している。

2 白新中学校の実践

- ① 実践のテーマ：授業づくりに焦点をあてた教員の資質向上に向けた研修体制の確立
- ② 実践の概要：授業に特化して支援する「授業づくり部」を校内組織として設置し、若手教員の育成を図る。

【図 校内組織】



<学ぶべき点>

- ・ ねらいや組織の業務内容を具体的にすることで、成果に直結させている。
- ・ 実践内容をリーフレットにまとめたり、研修会で実践内容を発表したりして、市内の学校に実践の成果や課題を共有している。



実感を伴って学ぶ

新潟市教育振興基本計画 基本施策2、10

「アグリ・スタディ・プログラム」の活用推進

「アグリ・スタディ・プログラム」とは？

新潟市の学校・園で行う農業体験学習の総称
アグリ・スタディ・プログラム(ASP)

新潟市の主要な産業**農業**が教材

課題を解決するために、五感を働かせながら、**体験と知識を結び付けて考える力**を高め、学力を高める学習

学習指導要領に基づき、それぞれの教科等について、**農業体験活動を活かした単元等**を構成した基本プログラム。

- 1 小学校編
 - 2 中学校・中等教育学校編
 - 3 特別支援学校編
 - 4 幼稚園・保育園編
 - 5 適応指導教室編
- 合計 70のプログラム**



アグリ・スタディ・プログラム(ASP) 農業体験例



「令和版！アグリ・スタディ・プログラム」

平成29・30年 学習指導要領 改訂
「資質・能力」の明確化、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

GIGAスクール構想
1人1台端末、学校のICT環境整備
新潟市 教育の情報化ビジョン

SDGs
各教科、総合的な学習の時間と関連した学習
新潟市はSDGs未来都市



「食と農のわくわくSDGs学習」とは？

食や農をテーマに児童・生徒・学生**自ら課題設定し、探究**しながら学習成果をまとめている学習

主体的・対話的で深い学びの実現により、**食や農に対する理解を深め、ふるさと新潟への誇りや愛着、そして生きる力を養う。**

新潟市立小・中学校、高等学校、専門学校、大学 実施校

令和6年度 実施校18校
(小学校8校、中学校3校、高等学校3校、専門学校・大学4校)

令和7年度 実施校24校
(小学校14校、中学校2校、高等学校2校、専門学校・大学6校)

令和8年度 実施校33校

木崎小学校 葛塚東小学校 桃山小学校 木戸小学校
鏡淵小学校 矢代田小学校 小須戸小学校 大鷲小学校
月湯小学校 大通小学校 庄瀬小学校 白根小学校
内野小学校 黒崎南小学校 岩室小学校 中之口東小学校
中之口西小学校 南浜中学校 木崎中学校 亀田西中学校
小新中学校 万代高等学校 日本文理高等学校
他(専門学校・大学 10校)

◆アグリ・スタディ・プログラムとの違い

	アグリ・スタディ・プログラム	食と農のわくわくSDGs学習
対象	幼保こども園、小学校、中学校・中等教育学校、特別支援学校、子ども支援室	小学校・高学年～大学
目標	教科領域のねらいの達成	探究的な学習による課題解決
教科時間	生活、社会、理科、特活、総合等の一部 (各教科の年間時数のうち1～9時間)	総合的な学習(探究)の時間 (年間時数のうち、各校の裁量で設定)
内容	野菜等の栽培・収穫体験、動物のふれあい体験、調理体験など	食や農をテーマに自ら課題を設定し、解決に向けて取り組み、まとめ・発表する

事業概要、実践事例集、統計データ、動画集が見られます！

